



UCS サーバファームウェア、および HX Data Platform と VMware vSphere のアップグレード：複合アップグレード

- [Cisco UCS ファームウェア、HX Data Platform、および VMware vSphere ワークフローのアップグレード \(1 ページ\)](#)
- [ガイドラインと制約事項 \(2 ページ\)](#)
- [HX Connect を使用した HyperFlex Data Platform ソフトウェア、VMware ESXi、および Cisco UCS サーバファームウェアのアップグレード \(3 ページ\)](#)

Cisco UCS ファームウェア、HX Data Platform、および VMware vSphere ワークフローのアップグレード

Cisco HyperFlex の「フルスタック」アップグレードプロセスでは、次の3つのコンポーネントがアップグレードされます。

- Cisco HyperFlex データ プラットフォーム
- VMware vSphere ESXi
- Cisco UCS サーバファームウェア

シスコでは、HyperFlex Connect からのこれら3つのコンポーネントすべてを組み合わせることを推奨しています。同じアップグレードワークフローで、1つ、2つ、または3つすべてのコンポーネントをアップグレードすることを選択できます。1つのアップグレードプロセスで複数のコンポーネントを組み合わせる場合は、次の手順に従います。それ以外の場合は、個々のコンポーネントのアップグレード手順について第9章を参照してください。

このセクションでは、HyperFlex Data Platform ソフトウェア、VMware ESXi、および UCS サーバファームウェアを組み合わせるアップグレード手順について説明します。このプロセス

では、VMware vMotion を使用することで、HyperFlex ノードはワークロードを中断することなく、最適化されたローリング リポートを実行します。



- (注) HX Connect から開始されるサーバファームウェアアップグレード操作の一部として、UCS ポリシーの一部が、新しいHXDPバージョンと互換性を持つように更新される場合があります。これらの変更は、アップグレードされるクラスタの一部であるノードにのみ適用されます。ポリシーの変化を避けるために、HX Connect を使用してサーバファームウェアのアップグレードを開始することを強くお勧めします。

アップグレードタイプ	手順
HyperFlex クラスタ	以下のワークフローを参照してください。
HyperFlex Edge クラスタ	HyperFlex Edge アップグレード
HyperFlex ストレッチクラスタ	ストレッチクラスタアップグレード
アップグレード手順の分割	HyperFlex オフラインアップグレードのワークフロー
HX インストーラのアップグレード手順	HX インストーラ ベースのアップグレード

UCS ファームウェアおよび HX Data Platform をアップグレードするには、次のタスクを実行します。

- アップグレードを開始する前に [HyperFlex ソフトウェアのアップグレードの前提条件](#) を確認してください。
- 管理者権限で、HX Connect にログインしてください。
- [アップグレード (Upgrade)] ページから適切なオプションを選択します。
- 必要なファイルをアップロードし、必要なユーザー入力を完了します。

ガイドラインと制約事項

アップグレードを実行する前に、次の点を考慮してください。

- DRS が有効で、完全自動モードに設定されている場合、VM はローリングアップグレードプロセス中に他のホストに自動的に vMotion されます。



- (注) DRS が無効に設定されている場合は、VM に対して手動で vMotion を実行して、アップグレードプロセスを続行します。詳細については、VMware のマニュアルで、vMotion を使用した移行の説明を参照してください。

- ESXi および HXDP のダウングレードはサポートされていません。
- HXDP、UCS ファームウェア、および VMware ESX のソフトウェア互換性については、リリースノートを参照してください。また、ESXi をアップグレードする前に、vCenter が互換性のあるバージョンにアップグレードされていることを確認します。詳細については、インストールに対応する [Cisco HyperFlex リリース ノート](#)、[Cisco HyperFlex HX-シリーズ システムの推奨 Cisco HyperFlex HX Data Platform ソフトウェア リリース](#)、および VMware サイト上の [VMware プロダクト相互運用性マトリックス](#) を参照してください。
- UCS Manager で使用可能なツールを使用して UCS サーバファームウェアを手動でアップグレードしないでください。HyperFlex サーバ用の UCS Manager のポリシーに対する変更は、オーケストレーションされたサーバファームウェアアップグレードプロセスによって提供されます。帯域外のファームウェア更新を手動で実行すると、これらの重要な設定の更新が失われます。

HX Connect を使用した HyperFlex Data Platform ソフトウェア、VMware ESXi、および Cisco UCS サーバファームウェアのアップグレード

始める前に

- [\[ソフトウェアのダウンロード\]](#) (Downloading Software) から、既存のクラスタを以前のリリースからアップグレードするための最新の Cisco HX Data Platform アップグレードバンドルをダウンロードします。
- <https://www.cisco.com/> から適切な HX カスタム ESXi オフライン アップグレードバンドルをダウンロードします。
- ストレージコントローラ VM でスナップショットスケジュールを無効にします。HyperFlex クラスタ IP に SSH 接続し、`stcli snapshot-schedule -disable snapshot schedule` コマンドを実行します。
- `stcli dp schedule pause` コマンドを実行してレプリケーションを一時停止し、`stcli dp schedule resume` コマンドを使用してアップグレード後に有効にします。詳細な手順については、[\[レプリケーションの一時停止 \(Pausing Replication\)\]](#) を参照してください。

ステップ 1 HX Connect にログインします。

- a) 管理者ユーザのユーザ名とパスワードを入力します。
- b) **[Login]** をクリックします。

ステップ 2 ナビゲーション ペインで、**[Upgrade]** を選択します。

ステップ 3 [アップグレードのタイプの選択 (Select Upgrade Type)] ページで [HX Data Platform]、[ESXi] および UCS サーバファームウェア (UCS Server Firmware)] を選択し、次のフィールドの値を入力します。

フィールド	基本的な情報
UCS Manager の接続	
UCS Manager FQDN/IP	Cisco UCS Manager FQDN または IP アドレスを入力します。たとえば、10.193.211.120 とします。
ユーザー名	Cisco UCS Manager <admin> username を入力します。
[管理パスワード (Admin Password)]	Cisco UCS Manager <admin> パスワードを入力します。
HX サーバファームウェア	
検出	[[検出 (Discover)] をクリックして、現在の UCS ファームウェア パッケージバージョンを表示します。
M3/M4 の望ましいバージョン/M5/M6 の望ましいバージョン (クラスタ内のノードに応じます)	<p>適切な C シリーズ ファームウェア バージョンを選択します。</p> <p>オプションで、クラスタにコンピューティングのみの B シリーズ UCS ブレードがある場合は、適切な B シリーズ ファームウェア バージョンを選択します。</p> <p>UCS Manager にアップロードされた C & B バンドルのみがリストに表示されます。目的のバージョンが表示されていない場合は、UCS インフラストラクチャ ファームウェア ワークフローのアップグレードに戻ります。</p> <p>互換性のあるファームウェア バージョンのみがドロップダウンリストに表示されます。目的のバージョンが表示されない場合は、Cisco HyperFlex ソフトウェア要件と推奨事項ドキュメントで HXDP とサーバーファームウェア間の互換性を確認します。</p>

(注) UI のドロップダウンに目的の UCS サーバファームウェア バージョンが表示されない場合は、[HX Connect UCS サーバファームウェア 選択ドロップダウンにファームウェア バージョン 4.1 以降がリストされていない](#)を参照してください。

ステップ 4 HyperFlex データ プラットフォーム アップグレード パッケージ (storfs-package) をアップロードします。

フィールド	基本的な情報
HX ファイルをここにドラッグするか、または [参照] をクリックします	<p>[ソフトウェアのダウンロード - HyperFlex HX Data Platform] が取得した、以前の release.tgz パッケージファイルを使用している既存のクラスタをアップグレードするために、Cisco HyperFlex Data Platform アップグレードバンドルの最新版をアップロードします。</p> <p>サンプルファイル名の形式: storfs-packages-4.5.1a-31601.tgz.</p>

フィールド	基本的な情報
現在のバージョン	現在の HyperFlex Data Platform バージョンが表示されます。
現在のクラスタの詳細	[HyperFlex リリース (HyperFlex release)] および [クラスタアップグレード状態 (cluster upgrade state)] のような HyperFlex クラスタの詳細がリストされます。
Bundle version	アップロードされたバンドルの HyperFlex Data Platform バージョンが表示されます。
(オプション) [Checksum]	MD5 チェックサム番号は、Cisco.com のソフトウェアダウンロードセクションのファイル名にカーソルを合わせてホバーさせると表示されます。 このオプションステップは、アップロードされたアップグレードパッケージバンドルの整合性を検証するのに役立ちます。

ステップ 5 ESXi オフラインアップグレードバンドルをアップロードします。

ステップ 6 vCenter ログイン情報を指定します。

フィールド	基本的な情報
ユーザー名	vCenter <admin> ユーザー名を入力します。
[管理パスワード (Admin Password)]	vCenter <admin> パスワードを入力します。

ステップ 7 [アップグレード] をクリックして、複合アップグレードプロセスの最初のステップを開始します。

ステップ 8 [アップグレードの進行状況 (Upgrade Progress)] ページの [検証画面 (Validation Screen)] に、実行中の検査の進行状況が表示されます。検証エラーがある場合は修正します。

- (注) この時点で、すべてのアップグレード前のチェックと検証が、最初のアップグレード段階とともに実行されます。数分以内に HX Connect が戻り、ユーザーにアップグレードの第 2 段階を確認して開始するように求めます。両方の手順が UI で実行されるまで、アップグレードは完了しません。システムは、アップグレードの最初のステップのみが完了した状態のままにしないでください。
- (注) UCS Manager でサーバを手動で確認応答しないでください。サーバが pending-ack 状態になる間、管理者が手動で介入することはできません。HyperFlex プラットフォームは、各サーバを正しい時間に自動的に確認応答します。
- (注) HX 5.0(1b) 時点で、アップグレードステータスが表示され、アップグレードされたバージョン (アップグレードで選択された各コンポーネントのソースバージョンとターゲットバージョン) とともに最後のアップグレードの結果が表示されます。成功した場合にのみ、このステータスを閉じることができます。最後のアップグレードが失敗した場合は、問題を修正する必要があります。このバナーは、アップグレードを修正するためのアクションを実行するためのリマインダです。

ステップ 9 HyperFlex Connect の UI は、アップグレードの最初のステップの後に更新され、UCS および vCenter のクレデンシャルを入力してアップグレードプロセスの第 2 段階を開始するように求めるバナーがポップアップ表示されます。アップグレード ページをモニタし、アップグレードが完了したことを確認します。

アップグレードが進行中の時に、「Websocket の接続が失敗しました」というメッセージが表示される場合があります。自動更新が無効になりました。エラーメッセージを消去するには、ページの表示を更新するか、ログアウトしてからログインし直します。このエラー メッセージは問題なく無視することができます。

次のタスク

アップグレードが完了したら、アップグレード後のタスクの [アップグレードが完了したことの確認](#) に進みます。アップグレードが失敗した場合は、アップグレードを再試行するか、Cisco TAC に連絡してサポートを受けてください。アップグレードの失敗後に修復なしでクラスタを実行することは推奨されません。アップグレードをできるだけ早く完全に完了するように、注意を払う必要があります。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。